

再生エネルギーの活用と省エネ技術

特集1 スズキ牧之原太陽光発電所の稼働

スズキが静岡県牧之原市の中里工業団地に建設を進めていた太陽光発電施設「スズキ牧之原太陽光発電所」は、最大能力20MW（メガワット）の発電所として2015年10月より試験運転を開始しています。現在、発電量を更に増加させるための増設工事を実施しており、完成は2017年3月を予定しています。

「スズキ牧之原太陽光発電所」は、中里工業団地に自社が持つ42万㎡の土地と相良工場敷地の一部をあわせた計46万㎡の敷地に、ソーラーパネルを設置します。増設後の年間発電電力量は、一般家庭9,500世帯分に相当する約34,400MWh（メガワットアワー）を予定しており、発電した電力は全量中部電力へ売電します。

スズキの太陽光発電事業は、2015年6月には浜松市北区都田町の浜松工場屋上に設置した0.9MWの発電所が稼働しており、さらに10月より浜松市西区舞阪町の遊休地にスズキグループとして、4MWの発電所が稼働を開始しています。

CO₂排出量削減効果

「スズキ牧之原太陽光発電所」の稼働により、スズキグループの太陽光発電所の総設備容量は約25MWとなります。これらの太陽光発電所稼働によるCO₂排出量削減効果は、スズキ国内工場の2015年度CO₂排出量の10.6%を見込んでいます。

スズキは発電事業を通じて地域に貢献するとともに、エネルギーの地産地消を進め地球温暖化の抑制や環境保全の取り組みを強化していきます。

各発電所の発電能力と状況

発電所	発電能力	状況
スズキ浜松工場太陽光発電所	0.9MW	2015年6月稼働開始
スズキ舞阪西発電所 スズキビジネス舞阪東太陽光発電所	4MW	2015年10月稼働開始
スズキ牧之原太陽光発電所	20MW	2015年10月稼働開始、現在パネル増設中。 2017年3月完了予定。



スズキ牧之原太陽光発電所